

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省2-⑰)

施策目標		17 自動車の安全性を高める						担当部局名	自動車局			作成責任者名	技術・環境政策課長 久保田 秀暢		
施策目標の概要及び達成すべき目標		車両安全対策の一環として衝突被害軽減ブレーキの普及促進を図り、1年間に生産される大型貨物自動車(車両総重量8トン超の大型貨物車)のうち、衝突被害軽減ブレーキが装着される車両台数の割合を令和2年度に90%とする。						施策目標の評価結果		政策体系上の位置付け	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保		政策評価実施予定時期	令和3年8月	
業績指標		初期値	目標値 設定年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等		
67 大型貨物自動車の衝突被害軽減ブレーキの装着率		54.4%	平成24年度	60.30%	66.10%	75.70%	80.90%	92.70%		90%	令和2年度	車両安全対策の一環として衝突被害軽減ブレーキの普及促進を図り、過去の装着台数実績より令和2年度までに90.0%の装着台数が見込まれるものとして設定したものを。			
達成手段 (開始年度)		予算額計(執行額)			R2年度 当初 予算額 (百万円)	達成手段の概要					関連する 業績指標 番号	達成手段の目標(R2年度) (上段:アウトプット、下段:アウトカム)			
		29年度 (百万円)	30年度 (百万円)	元年度 (百万円)											
(1) 車両の安全対策(昭和39年度)	196	435	446	616	649	自動車等の技術に関して基準の国際標準化を推進するために、自動車の国際基準の策定に必要な基礎調査を実施するとともに、自動車の安全基準の拡充・強化及び先進安全自動車(ASV)の開発・実用化に必要な技術評価等の調査を行う。					-	調査研究の件数 交通事故死者数			
(2) (独)自動車技術総合機構運営費交付金(平成13年度)	197	3237	3,192	3,396	3,971	自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究及び開発等を総合的に行うことにより、自動車運送等に関する安全の確保、公害の防止その他の環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保を図るための調査、研究及び開発等を遂行させる。					-	建替、改修等の箇所、分析等の件数、実施した研究テーマ数 受検者等の人身事故数、検査機器の故障等による閉鎖時間、整備実施件数、不具合情報の分析件数			
(3) (独)自動車技術総合機構施設整備費(平成13年度)	198	3998	4,339	3,792	6,115	自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究及び開発等を総合的に行うことにより、自動車運送等に関する安全の確保、公害の防止その他の環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を遂行させるための施設等を整備する。					-	建替、改修等の箇所、分析等の件数、実施した研究テーマ数 受検者等の人身事故数、検査機器の故障等による閉鎖時間、整備実施件数、不具合情報の分析件数			
施策の予算額・執行額		6,876 (6,322)	7,044 (6,797)	6,875	8,672	施策に関係する内閣の重要政策 (施策方針演説等のうち主なもの)									
備考															